



第2146回例会 12月第1週 12月3日(木)

通常例会 『相原茂吉ガバナー公式訪問』

司 会 親睦活動委員 石原 勇介

点 鐘 会長 小泉 哲也

ソング 「君が代」 「奉仕の理想」

ゲスト 相原 茂吉様 (川越)

RI第2570地区 ガバナー

勝瀬 義仁様 (朝霞キャロット) RI第

2570地区第2グループガバナー補佐

高橋 哲彦様 (川越)

RI第2570地区 地区幹事

山本 誠一様 新座BS・GS中央育成会

新座第1団 団長

森田 輝雄様 美しい街づくり委員会



相原茂吉ガバナーをはじめ地区役員の皆様  
ようこそ新座ロータリークラブへ！  
ご指導宜しくお願い致します

## 会長の時間 会長 小泉 哲也



皆様こんにちは。本日、今年度のガバナー公式訪問ということで、多くの会員の皆様にご出席頂きましたこと心より感謝申し上げます。

また、本日相原ガバナー、そして日頃よりご指導頂いている勝瀬ガバナー補佐、地区幹事高橋様、ようこそ新座ロータリークラブにお越し頂きました。至らぬ点の多々あるかとは思いますが、誠心誠意努めさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。

さて、本日会長の時間で何を話そうかといろいろ考えましたが、私の愛する新座市と、この新座ロータリークラブがどのようなクラブなのかを知って頂きたく、お話しさせていただきます。

新座市は、人口約166,000人、面積は22.8平方メートル都市近郊のベッドタウンとして発展して参りました。「都会の利便性と田舎の佇まい」の両立する、会員である並木市長が提唱する「住

んで良し、訪れて良し」の平林寺・野火止用水に代表される豊かな自然の残る街であります。

新座ロータリークラブは、昭和50年、1975年6月12日創立され、翌年の51年3月14日、立教新座高校の講堂にて認証式と伝達式がされたとのことです。チャーターメンバーは本日ご参加頂いている神谷稔会員で、新座ロータリークラブの全てを見てこられている存在として大変心強く感じております。現在会員27名で、30代から80代の人がまんべんなく集い、平均年齢63歳であります。夜間例会やゴルフ同好会を通じ会員同士の仲が良く、和気藹々とした雰囲気のクラブであります。

主な活動としては、市主催の市民まつり産業フェスティバルの子供広場は第一回目から参加協力させて頂いております。また、福祉フェスティバルは新座こぶしロータリークラブと一緒に近年では「手作りプリクラスタジオ」を行い、社会福祉協議会に拠出金で寄付を行っております。

心の声掛け運動は12月と6月に開催され、当初のぼり旗を寄贈し17年目の事業であります。

親子招待ボウリングは39年間続く事業で、心身障害者のご家庭をご招待しボウリングと会食を行っております。

薬物乱用防止講演会では、埼玉ダルク代表の辻本氏をお招きし当初高校生を対象に行っておりましたが、途中から市内中学生を対象に毎年行っております。

その他、残念ながら終了してしまった事業を紹介させて頂きますと、新座シティーウォーキング、献血事業、四市少年野球マックスシリーズ、鉄腕アトムと希望を語る親と子の集いなど、先人たちが本当に精力的な活動をされてきたことが伺われます。

本年度は、「出会いは財産、縁を絆に」をスローガンに活動を進めてまいりますが、新型コロナウイルス感染拡大により、思うように活動ができていないのが現状であります。そんな中でも、本日の公式訪問に向けて、事前にクラブ協議会と相原ガバナーのDVDを視聴し本日に備えました。コロナ対策を念頭に、例年に比べると時間を短縮しての予定となっておりますが、最後まで宜しくお願い申し上げます。

1、12月のロータリーレート 1ドル⇒105円

1、地区事務所より2件受信

1) 米山記念奨学委員会研修旅行の案内

期日：1月31日(日)

集合場所；ウエスタ川越前

出発時間：午前8時

登録料：5,000円(奨学生クラブ負担)

2) 「疾病予防と治療月間」リソースの案内  
(各会員にメール送信)

1、国際ロータリー日本事務局より、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「日本事務局在宅勤務」のお知らせ

・12月1日(火)～12月28日(月)

・Eメール、FAXでの連絡対応

1、ネパール奨学支援金協力をお願い

一口 8,600円

1、ロータリーの友事務所より、新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応に伴

1、新座市商工会新年交歓会中止の案内受信

1、市民新報社より令和3年年賀広告掲載依頼書

1、勝瀬ガバナー補佐より、ガバナー公式訪問に係る懇親会・駐車場の確認

1、西那須野ロータリークラブより会報拝受

1、バギオ基金協力依頼と2019年度事業報告書

## 賛助金贈呈

新座BS第1団

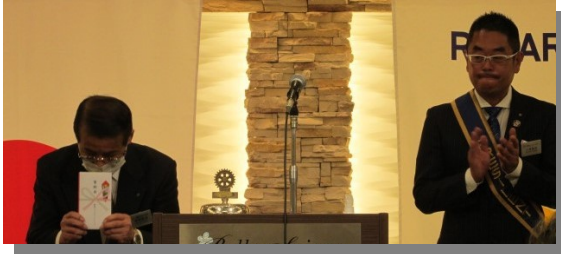
団長 山本 誠一



新座ロータリークラブの皆様から、長きにわたる賛助金を受け賜わりありがとうございます。

本日頂いた賛助金は、今後の各団の活動資金として有効かつ適正・公正に活用させて頂く所存でございます。今後共宜しくお願い申し上げます。

新座市美しい街づくり委員会 森田 輝雄



平成16年に新座ロータリークラブ創立30周年記念事業の一環として、新座駅前にイルミネーションの設置をして頂き、その管理委託を受け今年で17年目になります。毎年12月1日より1月31日の2ヶ月間点灯しておりますので、是非皆様も見に来て下さい。

今月のお祝い



神谷億文・宮川勝平会員に花束贈呈  
「お誕生月おめでとうございます」

会員誕生月:宮川勝平・本木英朗・神谷億文 各会員  
夫人誕生月:本木英朗・神谷浩一・森克巳 会員夫人

委員会報告

R財団委員会 委員長 神谷 浩一

ロータリー財団寄付金にご協力の程宜しくお願い申し上げます。12月は1ドル105円です。

R財団寄付金:10,500円(100ドル)

国際奉仕委員会 委員長 金子 幸男

ネパール奨学支援金ご協力のお願い

ネパールの貧しくて小学校に通えない子供たちに学費援助をする募金協力活動です。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。 一口:8,600円

親睦活動委員会 委員 陣野壮太郎

高橋 哲彦様(川越) ガバナーの随行で参りました。お世話になります。

小泉 哲也会員 本日はガバナー公式訪問に多くのご参加ありがとうございます。相原ガバナー、勝瀬ガバナー補佐、高橋地区幹事ようこそ新座ロータリークラブへ!宜しく願い申し上げます

神谷 億文会員 相原ガバナー、勝瀬ガバナー補佐、高橋地区幹事ようこそ新座ロータリークラブへ!ご指導宜しく願い申し上げます。

金子 幸男会員 相原ガバナーようこそ。ご指導宜しく願います。

宮川 勝平会員 相原ガバナーようこそ!誕生月です。

岡本比呂志会員 相原ガバナーようこそ新座ロータリークラブへ。ご指導よろしく願います。

森田 輝雄会員 相原ガバナーようこそいっしょにしました。宜しくご指導願います。

萩原 勇 会員 ようこそ新座ロータリークラブへ。宜しく願い致します。

大塚 雄造会員 相原ガバナー様今年度宜しくお願い致します。

龍山 利道会員 相原ガバナーようこそ新座ロータリークラブへ。

松岡 昌宏会員 相原ガバナーようこそ新座クラブへいっしょにしました。本日は宜しく願い致します。

陣野壮太郎会員 相原ガバナー新座クラブへようこそお出で下さいました。ご指導の程宜しく願い申し上げます。

神谷 稔 会員・大塚 誠一会員・岡野 元昭会員  
増渕 和夫会員・並木 傑 会員・神谷 浩一会員  
石原 勇介会員・森 克巳 会員

『相原茂吉ガバナー、勝瀬義仁第2グループガバナー補佐、高橋哲彦地区幹事、新座BS・GS中央育成会新座第一団山本誠一団長、ようこそ新座ロータリークラブへ!』

『ご指導宜しく願い申し上げます』





『今ロータリーに求めるもの』  
『何故今ロータリーか』

R I 第2570地区 ガバナー相原 茂吉



皆さん こんにちは。

本年度ガバナーの相原茂吉です。あらためまして、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

まずは私の病気の為に当初10月8日に予定しておりました公式訪問が本日に延期になってしまい、本当に申し訳ありませんでした。尿管結石で七転八倒の苦しみでした。手術を2回行い、10月の終わりに完治致しました。今は完璧な体調であります。本当にすみませんでした。本日の公式訪問は49番目のクラブです。最後がホームクラブの川越RCなので事実上最後の公式訪問です。新座RCは、会員数27、平均63歳。ちょうど半分の方々が先週66歳になった私よりも先輩のロータリアンの方々です。名簿を拝見すると皆様錚々たるメンバーです。このような逸材の方々を前に若輩のガバナーがRotaryを語る事は、非常におこがましいとは存じますが、これもお役目ということで、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、公式訪問でガバナーがお伝えすべき最も重要な事は、RI会長のテーマと趣旨、そして地区ガバナーのテーマと方針をお伝えし、クラブの活性化と会員のモチベーションを上げることあります。そこで、もうご承知とは思いますが、今年度のRI会長ホルガークナーク氏のテーマを一応お話しします。

ホルガークナーク氏はドイツ人、不動産業67歳です。テーマは既にご存じの通りRotary Opens Opportunities. ロータリーは機会の扉を開くであります。

私はこの意味をこのように解釈致しました。「私たちの人生には多くの可能性が満ち溢れています。その可能性をつかむには様々なアプローチの仕方があるでしょう。でもその機会は待っていればおとずれるのも、即ちチャンスではありません。

自分の手で行動しつかみ取るopportunitiesなのです。奉仕の理念の下、多様性に溢れるRotaryは人によって様々な価値観があると思います。そして、それは無限の機会への招待であります。皆さん、是非、Rotaryの扉を開きより豊かで幸せな日々をそして人生をつかんでください」

私は2005年に川越RCに入会して以来、本当に多くの機会に恵まれました。入会当時、私はロータリーに対して、余り熱心ではありませんでした。というか無理やり入会させられたので面倒臭いというか億劫でした。紹介者の手前、初めは適当にやっていたのですが、親睦委員長など役目を与えられ、仲間と炉辺会合や親睦ゴルフなどを楽しんでいるうちに、知らず知らずの内に、友人が増えいつの間にか、ロータリーは人生のもう一つの足場になっておりました。そして、今年度、考えもしなかったガバナーまで拝命し、何かのめぐり合わせを感じ、今は与えられた立場に感謝しております。さて、ご承知の通り7月のガバナー就任前にしなければならない3大研修は、地区チーム研修セミナー・PETS・地区研修協議会であります。

2月と3月に地区チームとPETSは何とか出来ましたが、誠に残念ながら4月の次年度の方針をしつかりと把握し、士気を高める為に重要な地区研修協議会は開催できませんでした。

4月は、コロナ感染危機が刻々とせまり、あらゆる活動の自粛、緊急事態宣言。学校の休校、そして国民的行事である甲子園の中止、ついには東京オリンピックも中止になってしまいました。

そして、前年度の地区大会も出来ませんでした。

なので、7月から始まる新年度は一体どうなるんだろうか？と非常に気をもんでおりましたが、7月になると各地区で例会がなんとか始まりしました。コロナに対して埼玉の北と南ではかなりの温度差がありました。志木や朝霞など都内に近い地区は非常にデリケートで例会場が銀行だったため例会開催がダメになり、今も例会場の確保が難しい状況です。第2Gの勝瀬G補佐は本当に苦労されておりました。一方北の方は、感染対策を十分にとった上で通常の例会が行われておりました。クラブによっては例会後の懇親会もありでした。そして、公式訪問は各クラブの実情にそった形で行い、本当に歓待され、恐縮と感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、コロナは第3波というか、またまた感染者が増えてきました。感染爆発の一手手前の感じもします。そんな中、11月3日地区大会を開催致しました。地区大会がクラスターになってロー

タリーに大きなダメージを与えたら、末代までの禍根になってしまう・・・どうしようか？本当に悩みました。加藤玄静P Gに相談してみたところ「相原さん、その気持ちはよくわかる。でも鈴木年度も地区大会は出来なかったし、多くのクラブが休会で会員のフラストレーションもたまっているよ。まずは開催する事を前提に準備して、間際になって無理そうだったら延期すればいいよ。是々非々で考えたら？」というアドバイスを受けました。私の腹は決まりました。

そこで、先ずはやる！ということで準備を始めたのであります。理由は、公式訪問を重ねるにしがって、加藤玄静P Gが言われたように、多くのロータリアンが熱い思いを持っている事。それから来年になってもコロナの状況が終息するとは限らない事。それから社会が何となくコロナと共存しなくてはいけない空気になってきたこと。そして社会が大きな集会を許容する環境に変化してきたことなどです。本当にベストタイミングでした。3週間経過した今でしたら、流石に地区大会はできなかったでしょう。

さて、ガバナーの役目は国際Rotary細則第16条に謳われているように、何ととっても地区とクラブの活性化であります。冒頭で申し上げました通り、私が就任前に非常に心配したことは、コロナの影響で多くのロータリアンの気持ちが離れ退会しちゃうんじゃないかでした。300名の脱会？孟子の言葉に「恒産無くして恒心なし」という格言があります。一定の職業がなかったり、物質面の安定が無かったりすると、正しく落ち着いた心を持ちことが出来ない事のたとえ。だそうです。私達ロータリアンは職業を基本としております。今回のコロナで相当な経済的・精神的ダメージを受けていらっしゃる方もさぞかし多いと思います。実際川越あたりの飲食では、相当な打撃を受けております。R Iの会員数の報告

1615⇒1530⇒1596+16=1612

私の心配はほぼほぼ杞憂でした。殆どの会員が残られた。この事実はRotaryの魅力以外なものでもないと思います。

新座R Cの小泉会長は事業計画書の中で「人々をRotaryに引き付けるのは友情と人脈作りの機会である」としっかりと語られています。正に真実であると思います。そして小泉会長はクラブの運営方針を「出会いは財産 縁を大切に」とされています。私の年度テーマlet's make fellows! を年度計画書の中で、非常にわかりやすく適格にまとめて頂きました。ありがとうございます。全ては出会いから始まり、今の環境を作っているのは

様々な出会いからなるもの、と改めて認識し、人や事柄との出会いの機会を多く作りだし、そこで得たご縁をしっかりと絆に変えられるような一年となるよう運営していきたい。と述べています。そして来るべき50周年に向けて具体的な5つのクラブ方針を掲げられました。こういった小泉会長をはじめとするリーダーの熱い思いが、私達のRotaryを支えている事に他ならないと思います。Rotaryは全世界にまたがり、120万の様々な人種から構成されております。なので多様性に富み、その思いは人様々だとおもいますが、根底にあるものは、115年前にポールハリスがRotaryを始めた原点にあると思います。原点、それは荒廃した社会における人と人との心の絆であると思います。120年という歴史の中で、Rotaryは、多くの賛同者の下、巨大化し国際組織に発展しました。同時に価値観の多様化が進み、統一ルール必要性とし、定款・細則が定められ、そして時代時代に適応するよう変化してきました。ポールハリス自身も1923年に、既にRotaryは変化しなければならない、時には革新的にならなければならない。とも言っています。しかしながら不変のものは、それは何ととっても友情と奉仕の理念です。

あるクラブの事業計画書の会長方針に茶道の「相客に心せよ」の言葉が紹介されておりました。茶道に関して全く無知な私はそのことを早速ネットで調べてみました。それは、千利休の茶道7則の第7番目の言葉です。そもそも「茶」とはどんなに良質の素材を用いて、最善の方法で作ри、非常に丁寧に点てたとしても、そこに「心」がなければ、単なる嗜好品で終わってしまう。その心とは、同じ場所に居合わせた人に対して気遣い、思いやる事。これが茶の湯の神髄である、とありました。さらに、このことは一期一会の精神が根底にある。ご承知の通り、一期一会、それは生涯に一回しかない茶会と思い、主客に誠意をもって真剣にもてなすこと。であります。

ロータリーの目的の第1項は「知り合いを広めて奉仕の機会とすること」であります。出会いを大切にする一期一栄に通じるものです。奉仕の理念は、相手の事を思いやり他人の為に尽くすことであります。正に茶道における「相客の心」とあい通じるものであることと思います。

まずはService above self. 世の為人の為に役に立つことの意味です。そして、仕事のやり方と考え方として、One Profits most who serves best. もっとも奉仕するものが最も報われる。即ちシェルドンの奉仕の理念の事を話します。シェルドンの職業奉仕の理念：職業は利益を得る



ためにするのでなく、職業を通じて社会に奉仕することである。お客さんに仕事を通じて奉仕することによって始めて、大きな見返りがある。仕事はお金を得るためにするのは当たり前、でもそこに相手の為、相手に喜ばれるという発想を持つと、全く仕事の角度が変わってくる。どうすれば相手に喜ばれるかを常に考えていると仕事のやり方が変わってくるし、自分自身の向上につながる。そしてそれは人格や人生観の向上にもつながる。有名な「近江商人の3方よし」の話、これも完全にシェルドンの職業奉仕の理念と同様だと思います。さらには現代のCSR (corporate social responsibility) の原点は昔から言われてきた事なのだと感じました。先日、大実業家である京セラの稲森和夫会長 85歳のDVDを見ました。その稲森さんが最も大事にされている言葉が「利他の心」だそうです。この「利他」を常に意識すると、運が好転し人格を作り上げ顔つきも変わってくる。さらに会社はいつそう強くなり安定する。そして、リーダーにとって一番大事な事は「能力や才能ではなく「思いやりの心」である」と。

近江商人の三方よし、利他の相客の心、稲森氏の利他の精神やリーダーシップの考え方など全てに共通することは「他人を思いやる心」です。

私は今年度のテーマをLet's make Fellowsとしました。皆さんは社会的に成功した地域のリーダーの方々です。そうでない人に比べて、人生における達成感や満足感はそれなりに多いと思います。しかし、同時に背負っている悩み、心配事、責任、などなどそうでない人と比べると間違いなく大きいと思います。先程申し上げた通り、同期34人のエレクトは、初めは仕方なく、恐る恐るサンディエゴに来た、しかし帰るときには我々は仲間なんだということを認識し、同期のエレクトとの絆は大変深まり一緒にがんばろうという共通の連帯感を生み出しました。

コロナでRotaryどころじゃないよと思っても、でもやっぱりRotaryの仲間は大切。例会が休会しても、ロータリーの仲間とはいつも一緒。何故ならば楽しいからです。一緒に楽しめる、価値観を共有できる、これらの事は皆さんが社会のリーダーであり、ロータリーはそういった集団だからなんだと思います。このことが、正にRotaryの魅力であると私は確信します。コロナはまだまだ終の気配が見えておりません。ロータリアンの健康と安全を最優先するRIからは、R活動の自粛を要請されております。RI会長は盛んにオンラインの採用を推奨しておりました。(中略)

人生には価値観を共有する友人が必ず必要です。

米山梅吉翁も言われました。「人間肉体上の福祉には第一に食物を必要とするが如く、精神上の富裕には最も友人を必要とする」もう一度申し上げます。皆さんは地域のリーダーと称される人たちです。幸せ感や達成感はそうでない人に比べると、かなり大きいと思います。しかし、同時に背負っている責任、悩みごと、心配はそれ以上に大きいと思います。だから、Rotaryなのです。ロータリアン同士は価値観が共有できます。結果人生がいつそう豊かに幸せになると確信します。皆さん、是非とも、Rotaryの扉を開き友達をもっともっと作ってください。

Let's make Fellows 友達をつくろう！です。

## クラブ協議会

### Aグループ

発表者 岡本比呂志

①地域にPR ②汗をかく ③楽しさ・ためになる団体に ④会員拡大：35人を目指す ⑤夜間例会をする ⑥会員卓話：30分は長いので5～10分位のものを ⑦「一つ持ち寄り、一つ持ち帰る」ことのできる例会を

### Bグループ

発表者 松岡 昌宏

①自社が5年後どうなっているか分からないのが現状である ②内向きで自分達だけ良ければよいとの風潮の中RCは貴重で誇るべき団体である ③35～37人が適正と考えるので、会員拡大が大事である ④候補者を例会に誘い、距離を縮めることを心掛ける必要がある

### Cグループ

発表者 陣野壮太郎

①良い例会、居心地の良い例会を考えること ②クラブメンバー同士が仲がいいのは良いことではあるが、逆に仲間に入りにくいのではないかと考える。対策が必要③海外のクラブとのコミュニケーションをとり他にPRすべきでは④他の人を呼べるようなオープン例会を企画し知って頂く

### 【相原茂吉ガバナーの講評】

大変有意義なご意見を頂き有難うございました。



相原ガバナー遠路お越し頂きありがとうございました